

農林水産業の振興

施策のめざす姿

農業経営が安定し、所得額が増えます。
荒廃した森林が再生します。

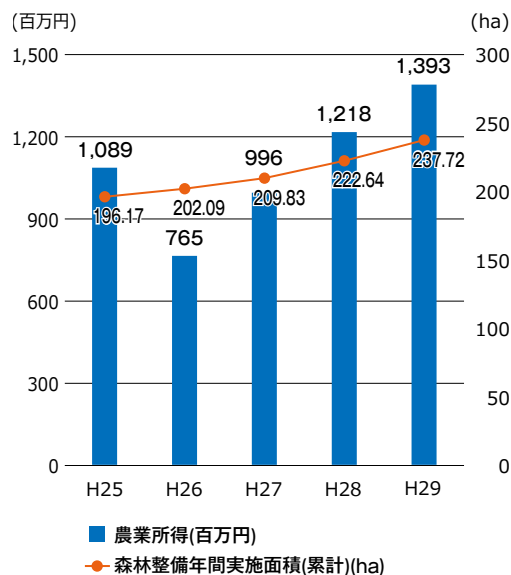
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
農業所得	1,393 百万円	1,599 百万円	補助事業等を積極的に活用しながらコストの削減を図り所得の向上を目指します。
森林整備年間実施面積（累計）	237.72ha	297.12ha	整備された森林の面積は順調に増加しているため、現状を維持した成果を目指します。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 農業従事者の高齢化及び後継者不足、TPP問題や放射能事故の影響による風評被害等、農業を取り巻く環境は厳しい状況です。近年の農作物価格の高騰により、農業所得は増加していますが、価格が下落した場合、再び農業所得の減少が懸念されます。
- ◆ 地域の中心的担い手である認定農業者の増加及び新規就農者の育成を図り、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図ることにより、農業所得の向上を目指す必要があります。
- ◆ 農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を活用し優良農地化を図り、効率的かつ生産性の高い農業を目指す必要があります。
- ◆ 林業者不足や溝腐病被害等によりサンプスギ林を中心とした森林の荒廃が進んでいます。特産品である「サンプスギ」の周知を図ることで、市内産木材の利用促進及び森林資源のエネルギー活用の仕組みづくりの検討を行う必要があります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 経営の安定化の推進	各種支援により経営の安定化、耕作面積の維持が図られます。	耕作面積	2,902.8ha	2,902.8ha	農地の集積集約を図り大規模化を推進し、新規就農者への支援により面積の維持向上を目指します。
		家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)	0 件	0 件	畜舎周辺対策等の事業実施により畜舎の衛生環境を保持し、家畜伝染病の発生を抑制します。
2 担い手の育成・支援	経営感覚をもって農業経営に取り組む農業者が増加します。	認定農業者数	344 人	389 人	市農業の中心的担い手となる農業者の増加を図ることにより、市農業の発展を推進します。
		青年等就農計画認定者数	5 人	20 人	市農業の将来を担う人材を育成するため、青年等就農計画認定者の増加を図ります。
3 農地の利用集積の推進	営農規模が拡大し、効率的な経営が可能となり、未利用農地が削減されます。	農地中間管理集積面積	111ha	281ha	水田の大規模化によるコスト削減を実施し、所得向上を図ることにより成果向上を目指します。
4 農産物の付加価値向上と販路の拡大	市内産品の付加価値が高まります。	産地化した品目の作付面積	406ha	447ha	主要品目を作付けする担い手の農地集積、集約を図ることにより、成果向上を目指します。
		GAP 等による取組人数	1,257 人	1,508 人	GAP の周知、指導が進められていることから、周知活動を推進し、成果向上を目指します。
5 農業基盤整備の推進	農業基盤が整備され、受益地の効率性・生産性が向上します。	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	4 箇所	5 箇所	有利な国・県補助事業を活用した農業基盤整備の事業完了数の増加を目指します。
6 森林再生の推進	荒廃した森林が再生し、木材の生産環境が整います。	森林整備事業年間実施箇所数	34 箇所	27 箇所	整備実施箇所数は順調に推移しているため、過去数年の平均実績を目標とします。
		市補助制度を活用し、搬出された木材量	476.2 t	1400.0 t	補助制度の利用促進により、木材搬出の流れを向上させることを目指します。

用語解説

認定農業者

：効率的、安定的な農業経営に向けた計画を策定し、その計画が市町村により認定された農業者です。

GAP

：GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理) とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことで、国内・国際認証の制度が設けられています。

商工業の振興と地域経済活性化

施策のめざす姿

市内企業・事業者への継続的な支援を行うことで、地域経済が活性化されます。

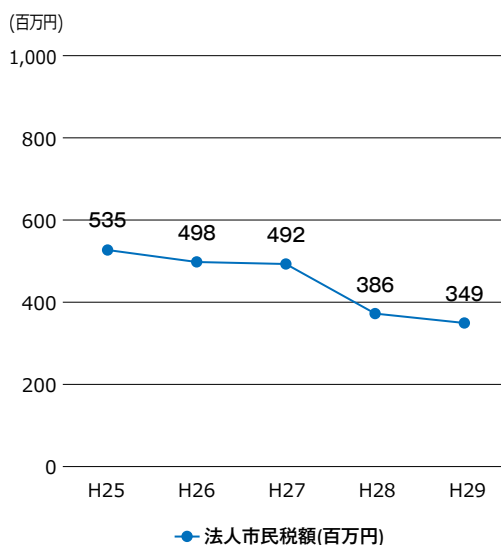
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
法人市民税額	349 百万円	297 百万円	平成 31 年以降の税制改正により法人市民税額は減額になりますが、黒字化した事業所数を増やすことで、法人市民税額の実質増を目指します。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域ならではの魅力を高める取組を通じて、商店街の連携強化とまちの活性化を図ることが求められています。
- ◆ 山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。
- ◆ 市商工会を通じた支援策を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。
- ◆ 現在、検討が進められている成田空港の機能強化に併せて、他団体との連携を強化し、空港の発展を市の発展に結び付ける取組を推進する必要があります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



出典：山武市決算書

基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 市内消費の向上	市内での買い物額が増加し、市内購買力が向上します。	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	71.1%	72.0%	市内企業の振興が地域経済の発展及び市民生活の向上に果たす役割を市民に理解していただくことで、成果向上を目指します。
2 経営体の体質強化・育成	事業者の経営体質強化、市内のビジネス環境が向上され、創業が活性化されています。	黒字化している事業所割合（法人税割を納めている事業所数）	55.0%	60.3%	エコノミックガーデニング事業や創業支援事業の取組を推進することにより、成果向上を目指します。
		新規法人登録件数	80 件	82 件	
		支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	115 社	214 社	
3 重点 企業立地と企業定着による雇用の推進	市内への企業進出及び求人が増加し、市内での雇用が促進されます。	市内事業所数	1,772 社	1,772 社	減少傾向となっている市内事業所数を維持することで、地域の雇用と地域経済の活力を維持します。
		市内従業者数	15,332 人	15,332 人	事業継承や新規創業等の支援を通じて雇用の維持創出を図り、市内従業者数を維持します。
4 重点 成田空港経済圏の形成	成田空港の近接性を活かし、経済を含めたあらゆる面で連携が取られることで、地域の繁栄がもたらされます。	成田空港周辺自治体としての取組件数	7 件	9 件	空港就業者と山武市への定住者を増加させるため空港関連企画を 2 件増加を目指します。
		成田空港関連の市内従業員数	630 人	630 人	生産年齢人口の減少が見込まれる中、空港内従業員数の維持向上を目指します。

用語解説

レジリエンス : 逆境にも関わらず良好に適応すること、復元力、回復力、弾力のある様子のことです。

エコノミックガーデニング : 米国で実施されている経済活性化手法のことで、地域内連携により企業家精神のある中小企業が長生きして繁栄するようなビジネス環境を創出することを指します。

序
論

基本
構想

基本
計画

政策
1

政策
2

政策
3

政策
4

政策
5

政策
6

資料
編

観光の振興

施策のめざす姿

観光客が増加し、市の魅力が高まります。

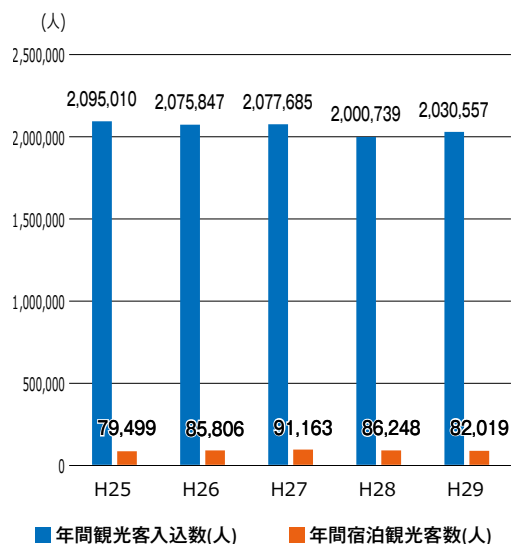
施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
年間観光客入込数	2,030,557 人	2,081,000 人	新たな観光資源の発掘や市内観光施設の魅力向上を図り、観光客の増加を目指します。
年間宿泊観光客数	82,019 人	82,800 人	宿泊につながる滞在型観光メニューを整備し、宿泊者数の増加を目指します。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 国内外問わず、近年のトレンドは「団体」から「個人」へ、「物見遊山型」から「体験型」観光へと変化しています。また、宿泊者数は、平成27年の91,163人をピークに減少しており、魅力あるイベントの開催、ニーズに合った観光メニューや滞在時間の長時間化を見据えた観光ルートの造成が必要です。
- ◆ 東日本大震災後に激減した海水浴客数は、平成27年に約11万人まで達しましたが、近年の気候変動の影響もあり、震災前の約半数に留まっています。対策として、常設トイレのある本須賀海水浴場において、国際環境認証ブルーフラッグの取得を目指すとともに、その他の海水浴場においても適切な施設管理を行い、海水浴のイメージアップを図ります。また、サーフィンやビーチスポーツ等、夏季以外の利用を促進します。
- ◆ NPO法人山武市観光協会ホームページやツイッター等のSNSを活用し、若者層に向けた観光情報発信を行います。また、電話や来訪での対応窓口である成東駅前観光案内所で、適切な案内が行われるように努めます。

前総合計画期間の施策の成果指標推移



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1 魅力ある観光事業の推進	イベントや体験観光等の魅力ある観光資源により、多くの方が山武市に訪れます。	イベントの来場者数	26,500 人	27,300 人	魅力あるイベント運営を心掛け、来場者数の増加を目指します。
		広域（県）、民間事業者との連携事業数	18 回	18 回	現状値が1カ月に1.5回ペースとなっており、現状維持を目指します。
		体験型観光客数	285,510 人	292,500 人	施設のバリアフリー化や PR 活動を行い、観光客増加を目指します。
2 重点 海岸を活用した観光推進	整備がなされ、快適に利用されます。	観光施設（海水浴場）の利用者数	93,087 人	95,000 人	安心安全な海水浴場の開設に努めることで、海水浴場の利用者数の増加を目指します。
		観光施設の維持管理上の不具合件数	1 件	0 件	塩害等の影響がある中で、定期的な点検等を実施し、適切な施設管理に努めます。
3 観光情報の発信	観光情報の発信が強化され、周知されます。	観光案内所利用件数	6,451 件	6,800 件	電話や窓口での問い合わせ先である観光案内所の体制確保により、成果向上を目指します。
		観光協会 HP 等の閲覧数	2,294 人	7,200 人	観光協会公式 SNS やホームページを活用し、市観光情報発信に努めます。



真夏の本須賀海水浴場

用語解説

体験型観光

：従来の「見物」だけではなく、農作物収穫体験等、その地域の産業や文化を、旅行者が五感で体験できる観光プログラムです。

ブルーフラッグ

：欧州を中心に 49 カ国、約 4,000 カ所で取得されている、ビーチの国際環境認証です。主に環境と安全に関し 33 の審査項目があり、国内及び国際審査が行われます。国内での取得は 2 カ所となっています。（H29 年現在）